

平成23年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	スポーツキャンプ・各種大会の誘致			基本目標	スポーツランドの推進		
担当課(局)・係	政策推進課	総合政策係	記入者	宮越 信義	評価者	森 弘道	開始年度 H18 年度
評価状況	理由	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 評価対象外 ※評価対象外を選択した場合は、その理由を下段から選んでください					
		<input type="checkbox"/> 法定受託事務である <input type="checkbox"/> H24年度以降実施しない <input type="checkbox"/> その他(※下段に理由を記入)					

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	対象(誰を・何を)	町経済の活性化、スポーツ・観光の振興						
事業の内容	春先の温暖な気候を活かし、関東方面の社会人や大学などのスポーツ団体を対象にキャンプ誘致や全国高校総体や全国スポレク祭などの開催実績がある総合体育館をアピールし、新たな大会の誘致を行うため機会があることに企業訪問やPR活動を行う。							
22年度決算額	97,955 千円	23年度予算額	1,739 千円	事業従事者数	H22 0.25 人	H23 0.10 人		
主な支出項目	旅費	113 千円	国庫支出金		22年度人件費	1,799 千円		
	需用費	99 千円	県支出金		23年度人件費	714 千円		
	委託料	5,145 千円	地方債		23年度予算額における一般財源の割合(H23) 100.0 %			
	工事請負費	90,770 千円	一般財源	1,739 千円	根拠法令・要綱等があれば記載してください			
	補助金	600 千円			地球温暖化対策の推進に関する法律			
町の補助事業	<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> 町単独補助 <input type="checkbox"/> 国県補助			補助事業名	スポーツ合宿補助金			
	補助交付団体	関東学園大学・桐蔭横浜大学硬式野球部		補助金要綱	高鍋町スポーツ合宿補助金交付要綱			
	22年度	補助額	600,000 円	補助の形態	臨時的補助	23年度補助額	900,000 円	終期 H23 年度
		団体の決算額	11,962,789 円	昨年度までの補助金見直しの状況・検討委員会での決定事項等				
		補助の割合	5.0 %					
繰越額		0 円	なし					

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか
	1 キャンプチーム数	町経済の活性化を図るためキャンプ誘致活動を行い、社会人・大学硬式野球部3チーム、延
	2 屋内多目的広場建設	雨天時のスポーツ拠点施設である屋内多目的広場を建設した。
	3	
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に
	1 キャンプ団体訪問	昨年度キャンプ実績のある3大学を訪問し、キャンプ継続をお願いした。また、沖縄の自衛隊
	2	
	3	

◎達成状況

指標名		単位	21年度	22年度	23年度	
成果指標	キャンプチーム数	目標値	3	3	3	
		実績値	3	3		
		達成率	100.0%	100.0%		
	屋内多目的広場建設	目標値	棟		1	0
		実績値			1	
		達成率	%	#DIV/0!	100.0%	
	0		#DIV/0!	#DIV/0!		
活動指標	キャンプ団体訪問	目標値	3	3	3	
		実績値	3	6		
		達成率	100.0%	200.0%		
		0		#DIV/0!	#DIV/0!	
		0		#DIV/0!	#DIV/0!	
		0		#DIV/0!	#DIV/0!	

事務事業名	スポーツキャンプ・各種大会の誘致	担当課(局)	政策推進課
-------	------------------	--------	-------

◎事務事業の評価

	評価する項目	点数	
		自己評価	委員評価
( 妥当性 )	◎目的からして町が行うべきか	2	-
	◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか	2	-
	◎社会情勢(住民ニーズ)に適応しているか	2	-
	◎事業廃止による影響があるのか	2	-
有効性	◎目標に対して成果は得られているか	1	-
	◎すでに目的は達成されていないか	1	-
効率性	◎活動量の効果は実際に上がっているか	1	-
	◎費用対効果が十分に認められるか	1	-
協働性	◎町民との協働の可能性はあるか(ボランティア・NPO等)	1	-
合計(最高18点)		13	-

※町補助をしている場合のみ記入

( 公益平性 )	あくまでも町内で合宿を行う高校生以上の団体が対象である。	◎公益性が高いか ※公益性:不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与していること	1	-
		◎行政では対応できない部分を、補助事業がカバーしているか	1	-
		◎町民の理解が得られる事業であるか	1	-
合計(最高4点)		3	-	
その他	スポーツ合宿補助金によりキャンプに参加する選手の個人負担軽減につながっており、キャンプで来町しやすい体制が整った。			

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	◎担当者の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	スポーツキャンプ補助金は、宿泊料や飲食店利用などにより補助金の投資以上の効果を生んでいる。今後は野球のチーム数を増加することは施設の数、規模から不可能なので、総合体育館を利用する天候に左右されないバドミントン競技などの誘致にも取り組む予定である。	今後の方向性			
			拡充			
			事業の方向性	現状維持	縮小	廃止
						コスト

事務事業評価委員会 評価欄	事業	拡充	◎練習場も確保できたので、有効誘致を図っていただきたい。 ◎グラウンドを利用した誘致には限りがあるので、総合体育館も利用したキャンプ誘致を進めていただきたい。 ◎スポーツキャンプによる町内の経済に与える波及効果は大きいので、今後も宿泊キャンプの誘致を積極的に展開してもらいたい。 ◎キャンプの受入窓口を観光協会に委ねていく方向も必要と考える。
	コスト	拡充	
	委員評価	-	
	外部評価	-	